熊本県を中心とする九州地震災害に対するシャラン・バロウITUC書記長からの お見舞いレター

国際労働組合総連合(ITUC)のシャラン・バロウ書記長より4月16日未明に発生した大地震に対し、お見舞いのレターが届きました。

19 April 2016

Dear Brother Kozu,

The international trade union movement was shocked and saddened by the impacts of the earthquakes that have hit Japan causing death, injury and destruction.

We wish to convey our most sincere condolences and sympathy to the families of those who lost their lives, and to those who were injured.

Our thoughts are with you, and we wish every success for the recovery and reconstruction efforts.

Yours sincerely,

General Secretary

2016年4月19日

神津会長

国際労働運動は、日本で発生した震災による死傷者や倒壊などの被害状況に衝撃と悲し みを覚えております。

私たちは哀悼の意を表しますとともに、亡くなられた方々のご家族、負傷者の皆さまに 心よりお見舞い申し上げます。

私たちの思いは皆さまとともにあり、復旧・復興にむけた努力が実りますことをご祈念いたします。

シャラン・バロウ

書記長